



スペシャルオリンピックス

スペシャルオリンピックス(SO)は、知的発達障がいのある人たちに、さまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障がいのある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。

ここ富山でもSOが活動しています。現在約130名のアスリート会員が、陸上競技、水泳、ボウリング、サッカー、バスケットボール、アルペンスキー、フロアホッケー、卓球と8つの種目に取り組んでいます(2009年10月現在)。



SOのはじまり

SOは1963年、故ケネディ大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が自宅の庭を知的発達障がいのある人たちに開放して開いたデイキャンプが始まりです。夫人には、「知的発達障がいがあっても、スポーツを心から楽しむチャンスが与えられるべきだ」との信念がありました。現在、150カ国以上で、約170万人のアスリートと50万人にのぼるボランティアが活動に参加しています。

日本へ

1991年夏、ミネアポリスで開催された世界大会に熊本から参加した10歳のアスリートが体操競技で銀メダルを獲得。ダウン症と難聴のあるアスリートの快挙が多くの人々の感動を呼びました。1994年、熊本で「スペシャルオリンピックス日本(SON)」が設立され、現在は事務局を東京に移しています。

そして富山へ

富山では2003年、細川佳代子前理事長が旧大島町で講演されたのをきっかけに、SON富山の前身である準備委員会が立ち上がり、2005年11月、正式に地区組織としての認証を受けました。養護学校、施設や作業所等への働きかけでアスリートも増えています。企業や大学、各種学校へも働きかけながら、より多くのボランティアの参加を待っています。

アスリートと一緒にスポーツを楽しむ気持ちさえあれば、その種目や他の競技の経験がなくてもコーチとして活動できます。そのほか、事務局運営、広報、資金調達、イベント企画など、全てボランティアが支えています。「出来ることを出来るときに」がモットーです。みなさんも参加してみませんか。



アスリート

アスリートの最大の理解者です。アスリートと一緒に一歩外へ踏み出してみませんか。



コーチ・ボランティア

6歳以上の知的発達障がいのある人で、スポーツをするSOの主役です。競技会では、SO独自の「ディビジョニング」というクラス分けによって、同じレベルで競い楽しめるよう工夫がなされています。



ファミリー

スポーツ活動

各スポーツの日頃の活動をプログラムと呼んでいます。プログラムは年間に8回ずつ行われ、地区競技会、ブロック競技会、ナショナルゲーム(全国大会)とワールドゲーム(世界大会)と進んでいきます。

スポーツ以外の活動

定期的な活動としては、文化プログラム、SOイベントやバーベキュー大会のほか、講演会・映画会など、スポーツ以外の活動も行われます。クリスマス会や各プログラム終了後のファミリーとコーチを交えたサンキューパーティでは、和気あいあいと盛り上がっています。

スペシャルオリンピックス日本・富山

〒939-8208 富山市布瀬町南2丁目10-14 TEL:076-400-7736 FAX:076-415-0842 Email: info@son-toyama.jp

詳しくは、ホームページをご覧ください <http://www.son-toyama.jp/>

